

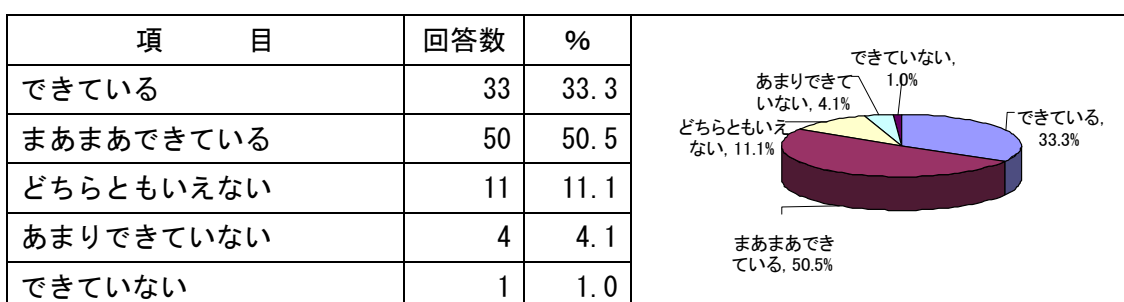
平成22年度 第1回新城市市政モニターアンケート調査結果

アンケート実施期間 平成22年8月16日（月）～8月31日（火）

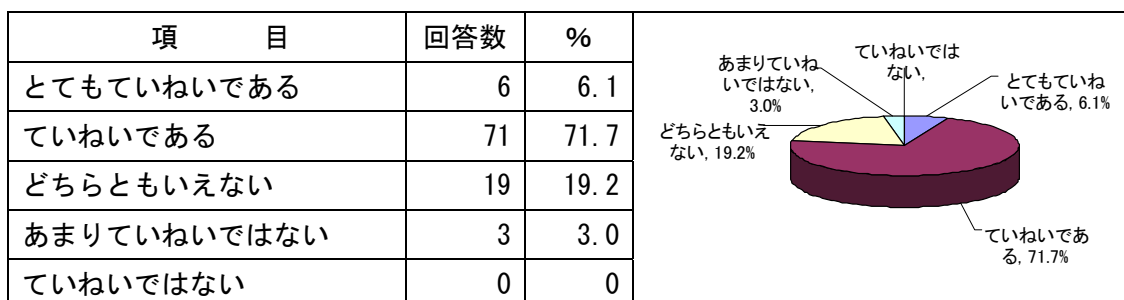
回収率 99%（99人／100人中）

テーマ1 市職員の対応について

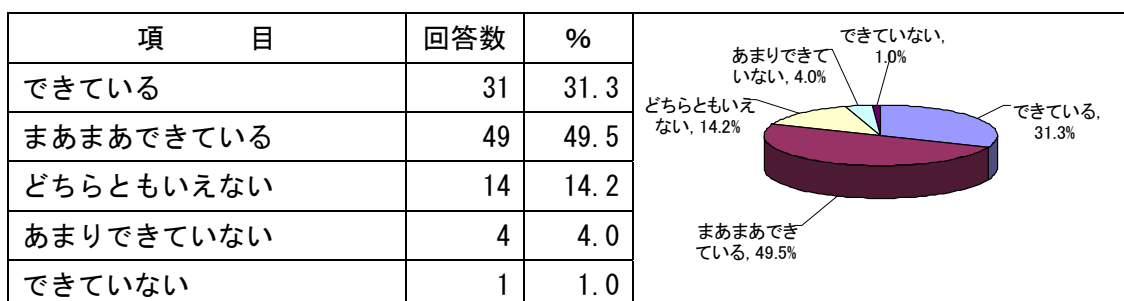
Q1 市職員は、来庁する方々に対し、きちんとあいさつができていますか。



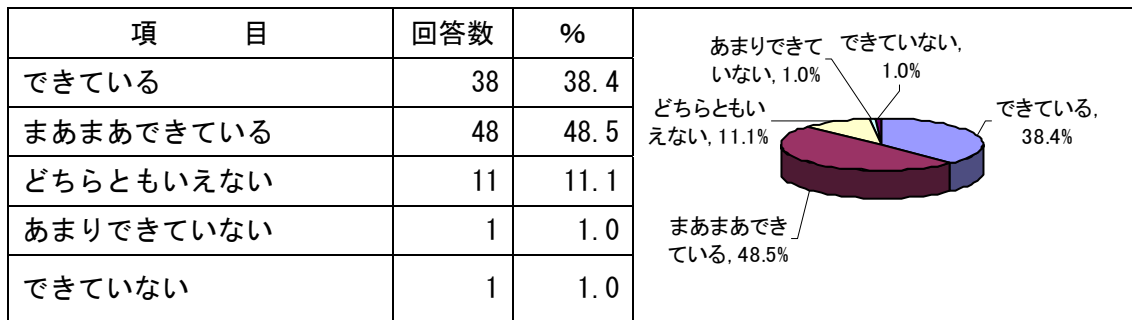
Q2 市職員の言葉づかいについて、どのように感じますか。



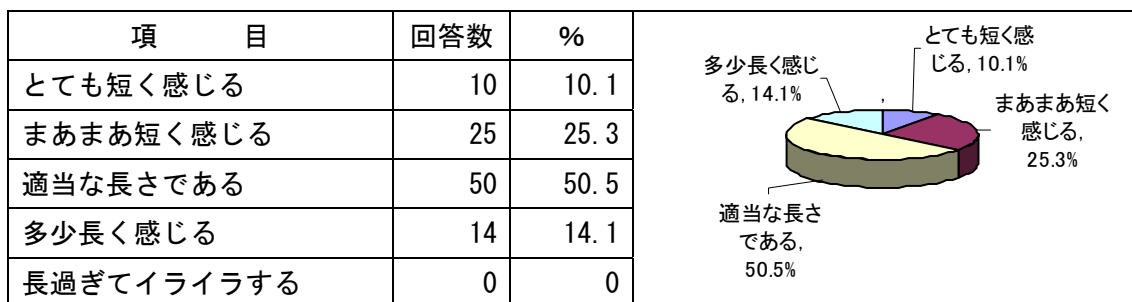
Q3 市職員は、親切でていねいな対応ができていますか。



Q4 市職員は、きちんとした身だしなみができていますか。

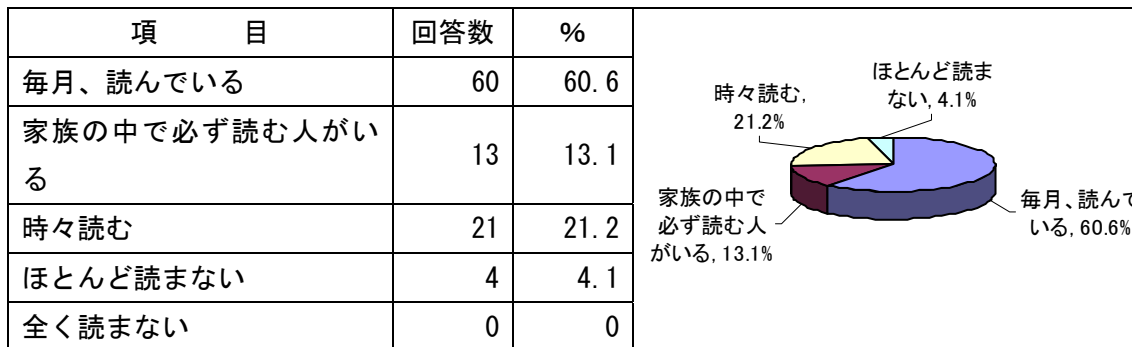


Q5 窓口における待ち時間について、どのように感じますか。

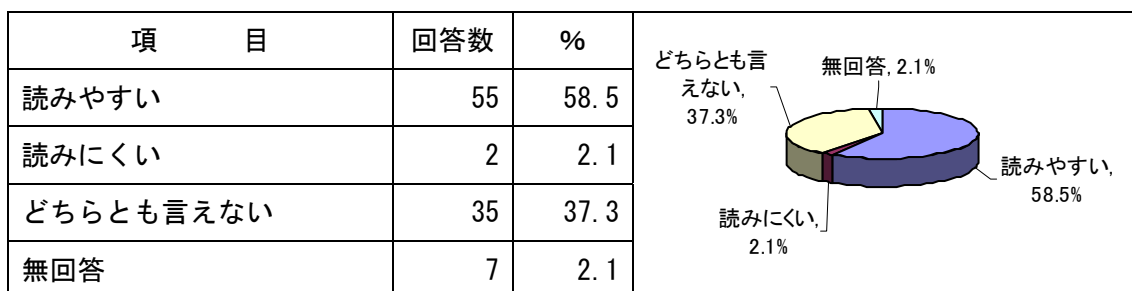


テーマ2 広報しんしろ「ほのか」について

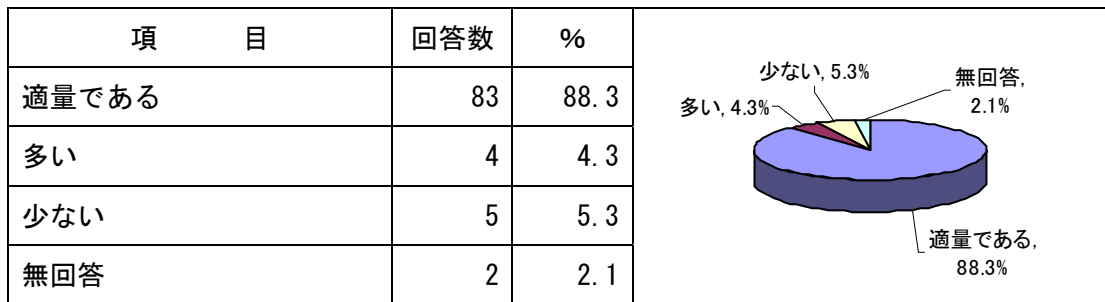
Q1 広報しんしろ「ほのか」を読まれていますか。



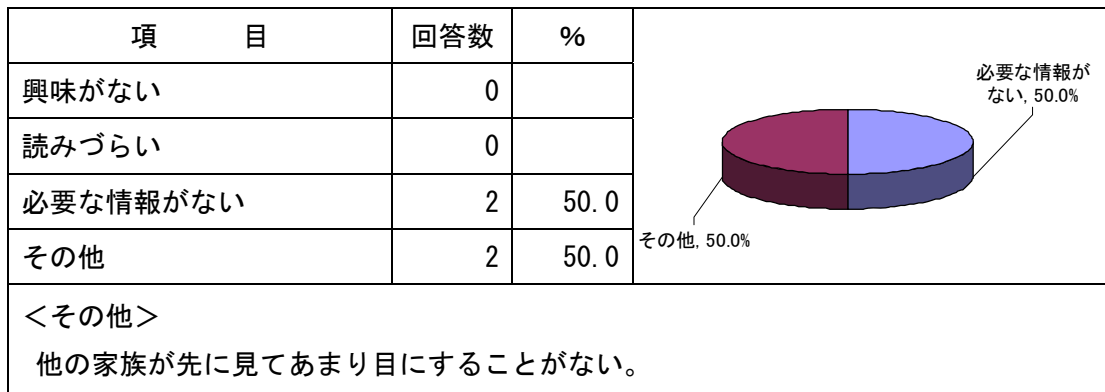
Q2 広報しんしろ「ほのか」を読んでみて、印象はどうですか。



Q3 広報しんしろ「ほのか」の頁数についてお聞かせください。

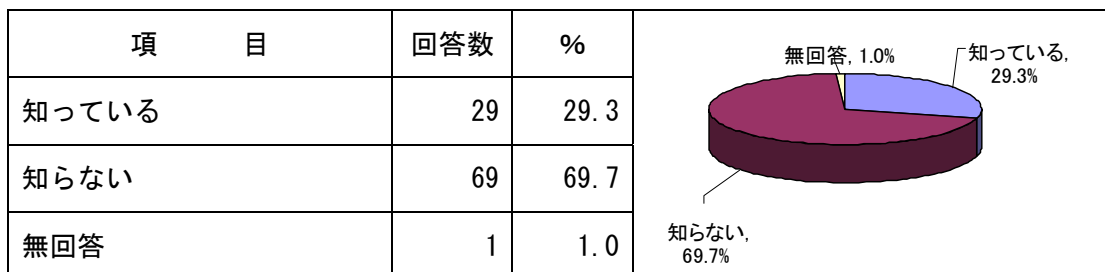


Q4 Q1で「ほとんど読まない」「全く読まない」とお答えいただいた方だけお答えください。読まない理由は何ですか。



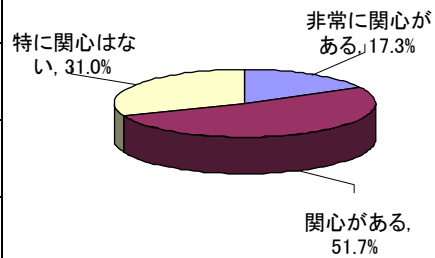
テーマ3 自治基本条例について

Q1 あなたは、「自治基本条例」という言葉を知っていますか。



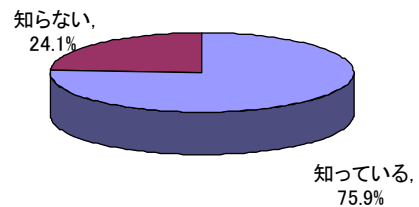
Q1-1 「知っている」と回答された方は、次のうちいずれかに該当するものを選んでください。

項目	回答数	%
非常に興味がある	5	17.3
興味がある	15	51.7
特に興味はない	9	31.0



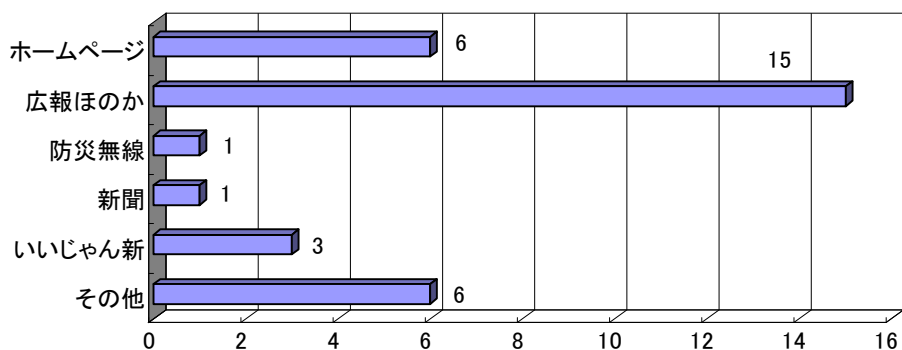
Q2 新城市が、新城市自治基本条例を制定しようとしていることを知っていますか。

項目	回答数	%
知っている	22	75.9
知らない	7	24.1

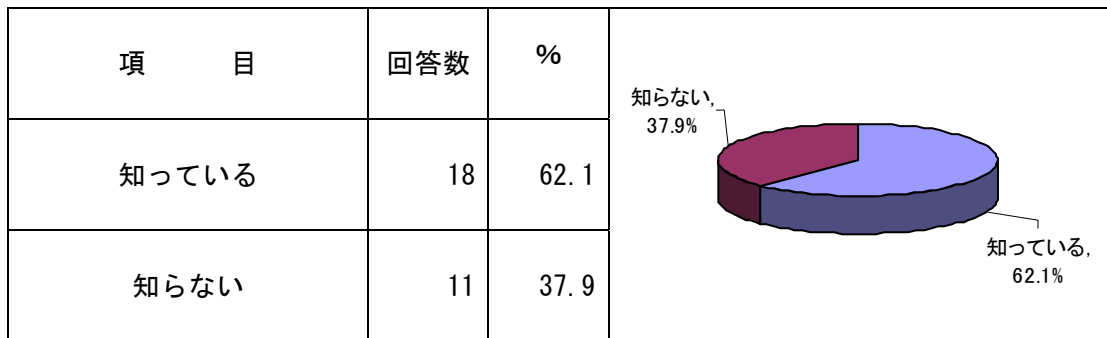


Q2-1 「知っている」と回答された方は、どこで知ったか次の中から選んでください。(複数選択可)

項目	回答数	〈その他〉
ホームページ	6	新城青年会議所
広報ほのか	15	10.2.13 市民シンポジウムにも参加しました
防災無線	1	議員
新聞	1	会議 市民会館
ティーズ (いいじゃん新城)	3	総合計画市民委員会委員
その他	6	

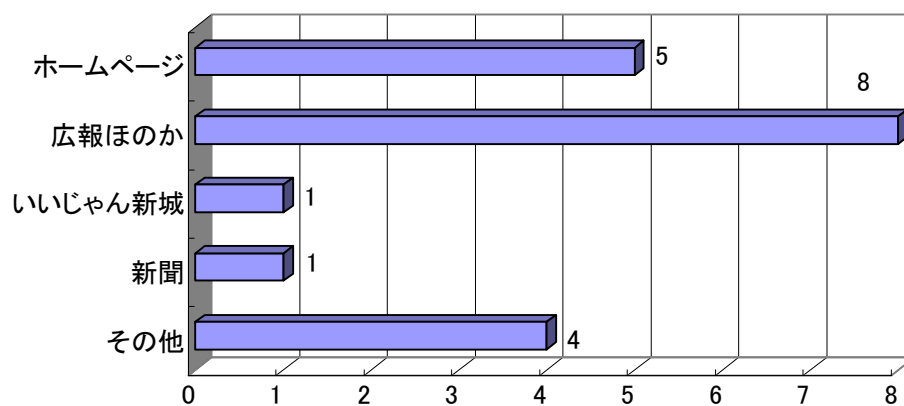


Q3 新城市自治基本条例を考える市民会議が、「自治基本条例」について、検討していることを知っていますか。



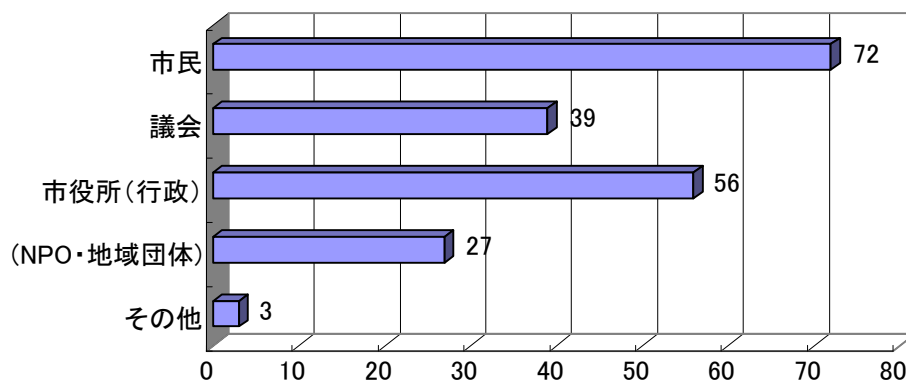
Q3-1「知っている」と回答された方は、どこで知ったか次の中から選んでください。
(複数選択可)

項目	回答数	<その他> 新城青年会議所 職員から聞く 議員 総合計画市民委員会委員
ホームページ	5	
広報ほのか	8	
防災無線	0	
ティーズ (いいじゃん新城)	1	
新聞	1	
その他	4	



Q4 自分たちの住む地域をよりよくするために、誰がその（自治の）役割を担うことがよいと思いますか。（複数選択可）

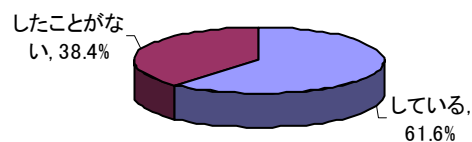
項目	回答数	<その他>
市民	72	各自 学校関係者や市内で事業をしていたり、働く人 商工会
議会	39	
市役所（行政）	56	
NPO・地域団体	27	
その他	3	



テーマ4 市の防災対策について

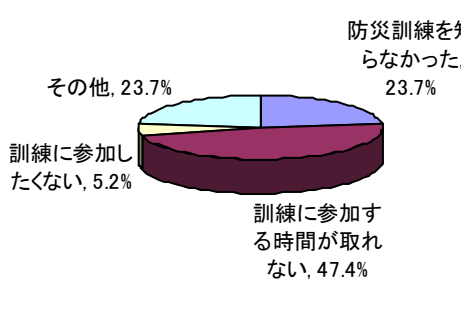
Q1 あなたは、地元の自主防災組織が実施する防災訓練に参加していますか。

項目	回答数	%
している	61	61.6
したことがない	38	38.4



Q1-1 「したことがない」理由は何ですか。

項目	回答数	%
防災訓練を知らなかった	9	23.7
訓練に参加する時間が取れない	18	47.4
訓練に参加したくない	2	5.2
その他	9	23.7



防災訓練を知らなかった, 23.7%

訓練に参加する時間が取れない, 47.4%

その他, 23.7%

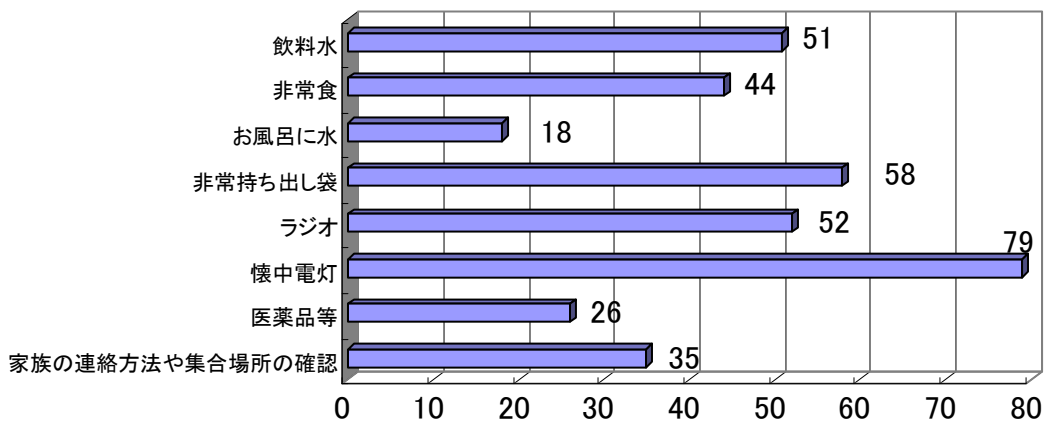
訓練に参加したくない, 5.2%

<その他>

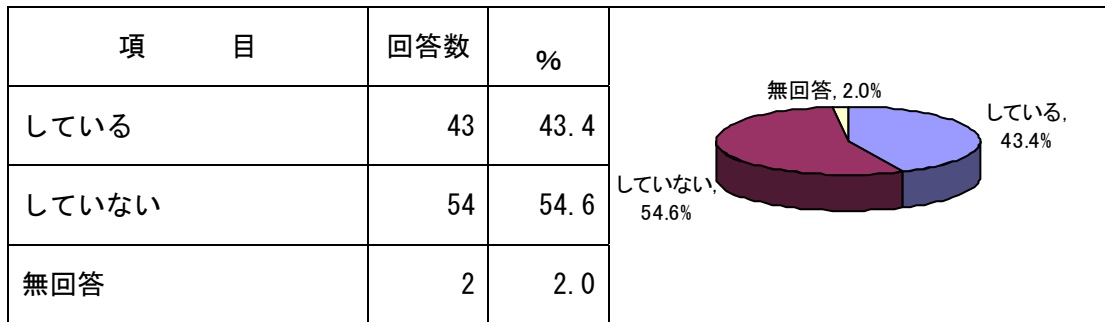
- ・こちらに引っ越して間がないので
- ・体の調子が悪い
- ・身内が参加している
- ・誘われたことがない

Q2 災害が発生したときのために何を準備されていますか。(複数選択可)

項目	回答数
飲料水	51
非常食	44
お風呂に水	18
非常持ち出し袋	58
ラジオ	52
懐中電灯	79
医薬品等	26
家族の連絡方法や集合場所の確認	35

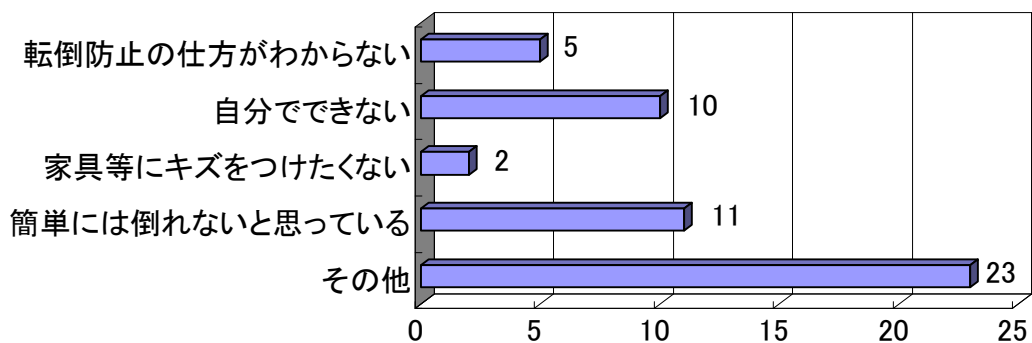


Q3 家具等の転倒防止対策をされていますか。



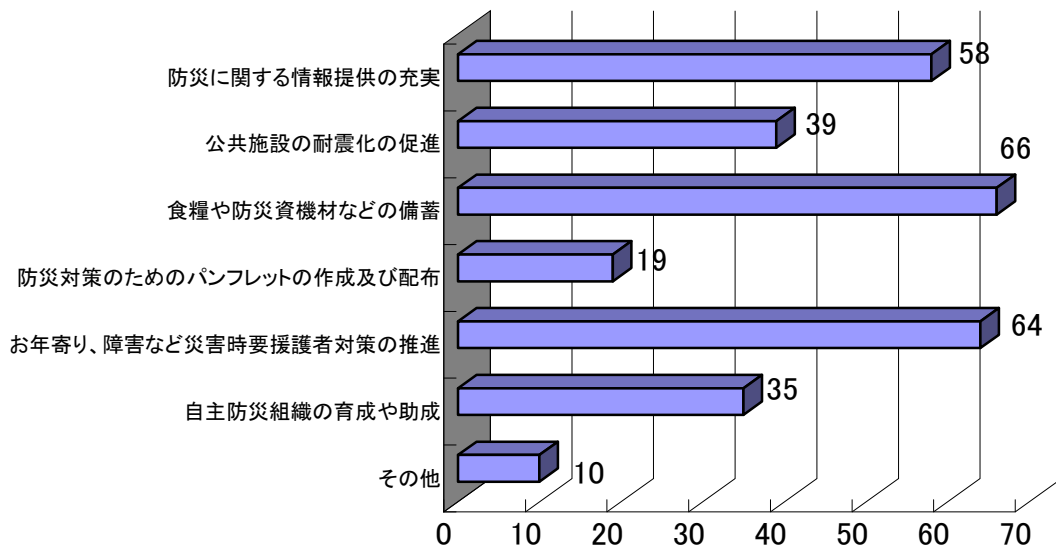
Q3-1 「していない」理由は何ですか。(複数選択可)

項目	回答数	<その他>
転倒防止の仕方がわからない	5	・県・市営住宅に、あまりキズつけると、だめなようなので。 ・必要性は感じていますが、つつい… ・やらなければならないと思いつつも作業が大変なのでなかなかできずにいる。 ・家具少なし ・面倒である
自分でできない	10	・防止の用具が意外と高い ・簡単なものは処置している。 ・以前の地震で少々の防止対策(効果なし)
家具等にキズをつけたくない	2	・寝る所へは倒れるものを置いてない。 ・転倒するものは転倒する！と思っている。 ・防止用のグッズを揃えてないため
簡単には倒れないと思っている	11	・特に考えていない ・耐震住宅に施行しているので
その他	23	・忘れていた



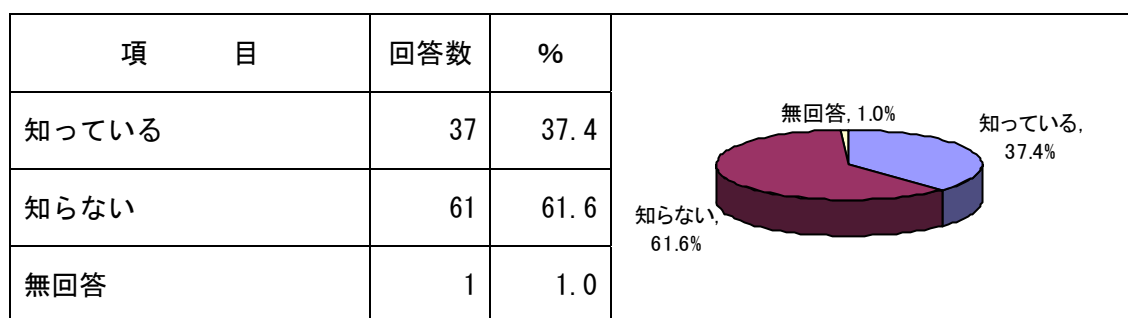
Q4 市が力を入れるべき防災対策は何だと思われますか。（複数選択可）

項目	回答数	<その他>
防災に関する情報提供の充実	58	<ul style="list-style-type: none"> ・年々減少する消防団員を増やす ・非常持ち出し袋を一戸に一袋配布する。 ・婦人防災など ・危機管理能力の充実（人の育成） ・ライフラインの充実、道路の整備、台風などによる停電対策 ・災害時の〔緊急医療を受け入れられる場所の通報〕有線無線（繰り返し放送してほしい。） ・各自の避難場所の確認など意識を高める。 ・災害人のケガ人を収容する病院の体制の確立 ・マグネチュー土8で死者50名、全壊280件と予想されることの周知。 ・協和小学校の耐震化をしてください。一人一人の命を大切にしてください。
公共施設の耐震化の促進	39	
食糧や防災資機材などの備蓄	66	
防災対策のためのパンフレットの作成及び配布	19	
お年寄り、障害など災害時要援護者対策の推進	64	
自主防災組織の育成や助成	35	
その他	10	

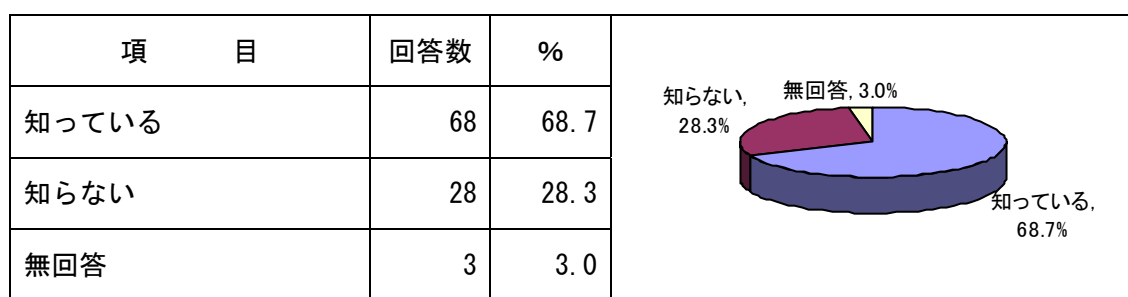


テーマ5 災害時要援護者支援制度について

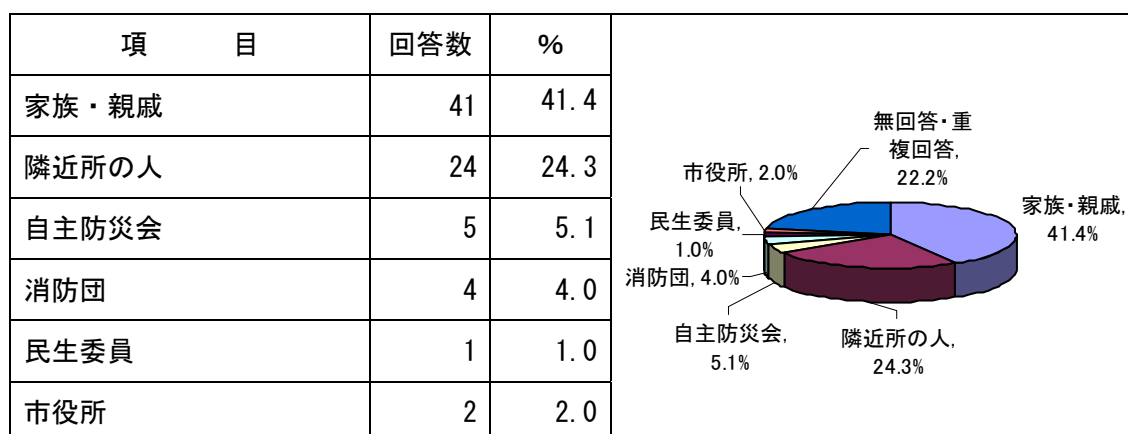
Q1 災害時要援護者支援制度をご存知ですか。



Q2 ご近所にお住まいのお年寄りや身体の不自由な方をご存知ですか。



Q3 災害が発生したとき、お年寄りや身体の不自由な方の災害時要援護者の安否確認や避難の手助けは、誰が一番主になってするべきと思いますか。



職員の対応について、ご意見などございましたらご記入ください。

各課ごとに、説明が違う事が多々あるので、統一してほしい。

対応ではありませんが、職員の働きやすい環境に付きましては感ずるところがあります。庁舎が古いとか、部署が分散しているとか、大掛かりな模様替えなど手が付けられないとは思いますが、どこも仮住まい的な雰囲気は漂い、これで本当に効率の良い業務が望めるのかなと思える程です。それは利用する市民側にとっても同じことが言えます。日々種々雑多な業務を抱え真摯に取り組まれている職員の皆さんが「働きやすい職場づくり」にも少し目を向けられる時間が必要ではありませんか。

「どちらとも言えない」という答えにしましたが、感じよく対応して下さる職員もいますし、きちんとした身だしなみをしている方もみえますが、残念ながら横柄な方や、知り合いの方にはなれなれしく対応し、一般市民にはもう少し親切だったら・・・と思うこともありました。

・よく上から目線を感じる。

・職員にもよるが、担当業務以外は知りません的な人が多い。その場合は、誰が担当であるをしっかりと覚えて、担当者不在でも一般的なことは言えるようにするべきだろう。もしくは、すべての業務を複数の担当者にしてなるべく一人はいるようにする。

あまりていねいだと親しさを感じないし、なれなれしくても私達市民もその時々感情もありませんし、いつもごころう様です。

一般企業・保険・銀行・デパートのような馬鹿丁寧な対応は期待していません。人を馬鹿にしないで、まじめに対応して下さいれば十分です。

今までに、おかしいな、と思ったことはない。良い。

笑顔があつていいですね。

対応ができていない人とできない人がいる。

お年寄りの方(軽い痴呆症状のある方や難聴の方)だけに口調が子どもと話すようになるのはおかしいと思います。Ex「～だもんでねえ」「～してくれるかねえ」[まっとってね]

各部署にて真剣に仕事をしていると思いますが一市民として、何をしているのか理解できない。理解をしていれば市民の為になる制度等あるのではないか。

聞く前から、職員の方から尋ねてくださり、以前よりも対応がとても親切で迅速であると感じます。

国民健康保険税について、電話で質問したところ、税務課の大石さんという方が対応してくれましたが、親切に教えていただき、とてもわかりやすかった。今後も相談にのってくれるとのことでしたので頼りにしています。

サービス業ではないので、普通の対応ができていれば問題ないと思います。特に良いとも悪いとも思ったことはない。

市職員の対応が良いのは当たり前の事。アンケートで聞くほどのことではない。しかし、課長クラスでもひどい者がいる。一部の職員がイメージを悪くしている。

市民の立場になって対応する。

市役所に行く機会があまりないのですが、今まで何回か行った際に不快な対応をされたということは無かったです。

少々ハデメイクの方もいます。香水はやめましょう。
職員一人ひとりの質の向上の問題とせず、全体でのスキルアップを忘れないでほしいです。
書類の発行手続きなどがなければ訪れる機会がないのでなんとも言えない。
新城市はお年寄りが多く、耳が遠い人が多いので、ゆっくりハキハキと対応してほしい
新城の方は優しくて親切な人が多い印象です
全体として不適切な対応はないと思いますが、民間並みの対応に近づく努力をしていくとよりよい行政サービスが構築できるはずです。
全般的に良くなったように感じます。
冷たい対応をされて困ってしまった住民がいました。だれでも申し込めれるものに対して、ある方が申し込みをした時にできないことを言われた住民がいました。
提出用書類を届けに行ったが、受付窓口が違っていたが受付職員が別の所に持って行くように言われたが、その時受け取って担当の所に届けてくれるような気付きが欲しかった。
とても親切で優しく対応してくれる職員の方もいますが、中にはそうでない方もいると思います。
とても親切に対応していただける人と無愛想な人との差異が感じられる。たぶん、職員のみなさんも承知していることではないでしょうか。窓口対応のかたは人当たりがよいのでしょうか、その人が食事や不在のときに対応するひとが無愛想ではないかと、よいように解釈しています。私は横浜、広島、大阪と転勤しましたが、広島が一番対応に好印象をもっております。次に大阪、新城、横浜の順に良いと感じております。
とても親切に対応してくださいます。
土曜日の対応も親切でよかった。
ふだん、鳳来支所を利用しているので、新城市役所へは行ったことがありません。鳳来でも、親切になんでも対応してくれて助かります。
待ち時間なく対応してくれるのでいいと思います。
窓口の職員の対応に不満はない。
昔よりは良くなったと思う。若い方のほうが丁寧だと思う。
来庁者にはマアママだ。但し、休日の電話での対応は不可。先月、市道路でネコが死んで片づけを依頼した。本日は日曜、明日は月曜だが祝日、従って明後日に対応する由。対応の仕方がまずい。
わからないことがあれば適切に対応してくれるので不満はないです。
挨拶は出来てはいるのですが事務的な挨拶に感じられます。 女性職員は良く挨拶をしてくれて市役所に行っても気持ち良くこちらも挨拶が返せます。 あと職員の上から見下ろす様な対応の仕方が気になります。 言葉使いや対応無中に腕組をして話すのはやめてほしい、すごく気分が悪い。
役所の担当の課は数年で移動になるケースがほとんどで、移動して最初の年度の人はおそらく勉強する時間も無く窓口で手間取ったり来庁者を待たせる事があると聞きます。 いろいろ不正防止に移動は欠かせないと思うのですが、窓口には知識のある人がいて欲しいと思います。

広報しんしろ「ほのか」について、ご意見などございましたらご記入ください。

「世界の国からこんにちは」は、いつも楽しくよまさせていただきます。
「ほのか」さえ読んでいれば、新城市民としての必要な情報はすべて得られる広報であってほしい。詳細については、図書館、係等を明記してあれば十分です。
・カラーでとても読みやすい。
1.無難な事柄でなく、身近な情報 2.マンネリ化を防ぐ(やらされている→やっている) 3.編集(内容)の決済は40才前の人に任せる。
一般の子ども、お年寄りの写真を載せていて楽しく見れます。
いつも楽しみにしています。今、特に関心のあることは子どもに関する事です。
インターネットで見れてよいと思う。
外国の「世界の国からこんにちは」旅に行けないのですごく楽しみにしています。いろいろな生活がありますね。
合併して面積が広がったので、エリア別に掲載してほしいです。
カラー印刷でとても読みやすいです。市内で行われる行事をもっと多く載せていただけるとありがたいです。(軽トラ市、子供向けイベント等)
求人情報を載せてほしい。
公共事業などの途中経過報告などしてくれるとありがたい。
最近の「ほのか」は、絵が増えて見やすいし、楽しくなりました。ほのか診療室は、勉強になるので毎回読んでいます。ところで、市民病院について質問ですが、何科があるんですか。市民病院に行ってもやってない科もあるんですね？どんな科があるのか知りたいです。
市議会報告等関心を持って読んでいます。各地域地域にスポットを当てるページがあってもおもしろい。例えば、おらが区長とか
市政としてこれから先、どのように暮らしやすく、どのように変わっていくかという方向性(例 第二東名)をもっと市民に理解してもらいたい記事がなさすぎるので加えてほしい。
自宅に届くのが遅く済んでしまっている情報があり残念です。
市民団体情報、宣伝等増やしてもよいかと思う。
市民の行動、市民の動き、市民の声ののっているなという風になってほしい。
市役所(支所)は私にとって必要な時にのみ行き、必要な事柄が済むとさっと帰ってしまう場所なので、市での取り組み事項の現況・進行状況(問題点)等すぐわかる旬な具体的情報のあり方を考えていただくと良いと思うのですが・・・(お知らせ情報が多いように思います。) 現在、各課で取り組んでいる課題の様子(中間報告)、成果と問題点等、継続的に知らせていく場があるとよいと思う。(例えば、広報等各家庭全てに情報が行き渡るような方法で)⇒それによって市民からの情報提供も可能になる場合があるように思う。
市役所関係の記事だけで一杯な感じでもっとユニークなテーマを考えて頁を作ってください。大阪圭吉の小説の連載、早川孝太郎の横山話の連載、新城でおきた戦国合戦の紹介等

<p>小学校の行事や地域のイベントの記事等写真も多く工夫されていてとても読みやすい広報紙だと思います。気になるところとしては、ガンなどの検診についての記載がちょっと事務的かなと感じます。毎回でなくてもよいと思うのですが、たまに「検診受けた方が良いですよ」「ここでやりますよ」という事をもう少しアピールした記事があると目に留まって分かりやすいかなと思います。若い方だと集団検診を自治体で行っている事自体知らない人もいるので・・・</p>
<p>新城市民病院の医者を紹介があってとてもいいことですが、週に一度では都合のつかない人もいるので二度位にさせていただくと思う。</p>
<p>新城出身の方の活躍が見れてとても楽しみです。</p>
<p>綴じて保存しています。</p>
<p>病院の診療時間がわかるページが数ヶ月に1回あると確認したいとき参考になりありがたいです。</p>
<p>フリーマーケットやリサイクルの開催などについての情報を積極的に載せてほしい</p>
<p>ページ数がとにかく多すぎて驚く。ムダな余白やカラー、写真も多すぎると思う。冊子ではなく、広報なのだから内容も簡潔にまとめる事が必要だと思う。1面A3程度で6面ぐらいで発行している行政もある。検討する方が良いと思う。</p>
<p>募集の項は対象者が広く、どのような人に参加してほしいのかわかりづらい。キャッチコピーをつけたり、どのような人に参加してほしいのかを具体的にした方が良いと思う。</p>
<p>ほのかモニターを兼務しております。他の市町村広報と比べても劣ってないと感じます。</p>
<p>毎回、小さな子どもや元気な高齢者の方の写真があって、とても良いと思います。</p>
<p>毎月楽しみにしています。</p>
<p>もう少し文字を大きくして欲しい。</p>
<p>回覧板と、ほのか重複していることがあるので、もったいないように思う。</p>
<p>活字の大きさも適切で読みやすいです。 子供の写真の掲載の年齢の引き上げを検討して下さい。</p>
<p>広報誌「ほのか」につきまして、発行部数の見直しが必要では無いのでしょうか？ 無駄の排除と言う観点から見ますと、余裕を持ち過ぎた部数がありはしないかと考えています。 各行政区からも、余裕を持った申請がされたり、公共施設にも重複配布がされたり、余ったものがどこかに山積みになっていませんか？有効適正部数の検証をして頂きたい。</p>
<p>情報を伝えていただきありがたいと思います。 読み物や連載物などがあつたりしたら楽しいと思います。</p>

自治基本条例について、ご意見などございましたらご記入ください。

何かを始めるには、先ず企画、推進者がいて、賛同者がいて、関心を持つ者が集い、となりますが、更に傍観者がいて、何事にも反対？したい輩もいるものです。今回の「自治基本条例」に関しては、無関心者をいかにして少なくするかが大切だと思います。それは、この条例により我々一人ひとりの暮らしが変わってくる筈だから、なのです。

市民が、興味をもてるように、条例を説明してほしい。

・住民が主役の地方自治にして欲しい。
そのことが、若者の定住に繋がると思う。

100人規模の自治基本条例の関連イベントに以前参加させていただきました。
なかなか私と同じ20代の方が少なくもっと積極的に若い意見を盛り込めたらと思います。

あらゆる立場の人の考えに耳を傾けていただければと思っています。

具体的に例をあげて検討材料として協議するとよいと思う。

国が地方への予算を減らしたため発生した矛盾や不備、混乱の責任を地方に押し付け、回避するのが目的のように思われる。まず、何よりも自由に使える財源を国からたくさんどんと用意してもらう事が先決である。偉大な哲学者や指導者でない限り、予算(金)なしで事業を進行するのは難しい。貴重な時間を小手先の空論に消耗するのは勿体ないと思う。

県にもひとまち条例はあるが、建築物などで新都市内には規模的にも適応されない事もあると思う。新城のスケールで検討し、取り組むのは良いと思う。ただ、市外から勤務に来ている人や学生など、生活していない人々への影響も慎重に検討する必要がある。条例制定に向けて柔軟な幅広い考慮に努めてほしい。

自治基本条例制定に向けて、個別の具体的改革を率先して進めていかないと地に足の着いたものとならなくなってしまうので一つ一つ着実な取り組みを重ねる必要がある。
基本条例を運営していくためには専門スタッフとしての市職員のレベルアップと基本条例を常に見直していく姿勢を忘れずにいていただきたい。

住民参加の地方自治を考えたとき、議員の立ち位置、議会の機能を見直して議会の重要性をもっと知らせるべきだと思う。

民間委託においてはNPOの政治的介入についても充分考慮し、個々のNPOの見極めをする際には質の高い情報収集をきちんとした上で決定することが重要だと感じる。

市内には沢山の自治区があり、当然区長も存在する訳でありその区長を別において他の自治制を考えると何か矛盾を感じます。区長会等を格上げする様にしてはどうか。

自分たちの地域のことはやはり自分たちで考えていかないと立ち行かないご時世だと思うので、地域の為になる条例を定める事は良い事だと思います。ただ、定める際にできるだけ多くの市民の声を吸い上げて「こんな条例を作ろうとしています。」ということをも市民にきちんと伝えるようにしていただけるとありがたいです。

市民に期待するのは困難。因みに我が地区の実態からして、

人口 昭和 58 年 685 人 平成 22 年 542 人

高齢化率 昭和 58 年 約 15% 平成 22 年 約 32%

加えて、一定の能力、技術のない方は働く場所が減っている。

市民の意見を広く聞くことは、大切だと思いますが、まとめるとなると大変なことが多くありそうです。全体的な視点を持って考えられる人がきちんと考えるべきだと思います。
市役所仕事だけにすることなく市民や NPO、地域団体の意見を大いに取り込んでほしい。
十人十色というように市民が10人いれば言うこともバラバラだと思う。多くの人たちの意見を聞くことも重要だが、そういった意見をまとめ、行政に届くような地域のリーダーの育成やしきみづくりに取り組んでいただきたいと思う。
住民自治についての意見の集約、自治とは何か？
知らないから教えてほしい。
その存在、必要性について、もっとアピールすべきであると思う。
何のことかわかりません。教えていただくと助かります。
平和を守る。ゴミを減らす。市民の声がきこえる広報
よくわかりません。
自治基本条例を知りませんでした。
昔と違って全員参加は難しいと思う。地域の委員中心で回覧板等で参加を募り、参加できるとき（都合がつくとき）〇〇回を目安に参加するなど、忙しい人に配慮した運営を希望します。
内容を把握してないのに申し訳ありませんが、自分たちの住む場所を良くしたりと思う人たちが活動したり発言したりするべきだと思います。 議員の方や行政の方より、大きなうねりとするためにも市民が行動すべきではないでしょうか。

防災についてお知りになりたいことはありますか。

防災無線は、緊急時のみでよいのでは？ 早朝からの、おくやみ情報は ちょっと。。
地域によって、地盤の強度が異なるようです。自宅付近の状況を知りたい。
家の土地は地震の時大丈夫か？ 引っ越したばかりだと何も分からないので手続きのときに避難場所など分かるものがほしい。
いざ災害となれば、御身大事で他の事は考えられないかもしれないが防災マップの中に、一番だれに連絡、二番目とその連絡網の〇〇が必要と思われます。
いつ、どこで災害に合うか分からないので、どこにいても、避難できるように、新城市全体の避難場所を知りたい。 下記の災害時要支援者支援制度があるのは知っていますが、詳しく知らないので知りたい。
各地区(部落)の避難場所
家庭が仕事で家にお年寄り、女性等しかいない時に起きたらどうするか、また、その対応について考えてほしい。
危険地域の見回り状況及び報告があるのかどうか

市が現在どのくらいの防災対策をしているのか知りたいです。自分も含め、友人等身の周りの人でも防災対策をしていない人がまだ多く、一因として皆、行政を当てにしているため危機感が無いというところがあるような気がします。「市は万が一の事があってもこれしかできませんよ!」という事が事前に分かっていたら、皆危機感を持って食料や防災資材の備蓄をすると思うので、そのあたりを知る機会があるとよいと思います。
市が取り組んでいる防災対策の内容と使った金額、それらにかかる維持費
市として、防災に対してどこまで力を注いでいるか知りたい。地元消防団員の減少に対する補助的な役割人材がどの様になっているか。
市や自治区が実際どこまで動いてくれるか具体的に教えてほしい
上水道機能支障 5000 件と想定される(M8)現存している井戸を活用すべく、事前に調査すべきと考えるが。
消防署前の信号が車両感知式となっているのに、なぜ感知が遅いのか。車両渋滞のため、防災面から考えても不適切と思われる。
職場での避難訓練や防災対策は定期的に行っています。地域(地区)の防災についてもっと知りたいです。
食糧・水は大丈夫か。医療は大丈夫か。
食糧の備蓄は十分か。
食糧や飲料水の備蓄はどのくらい市として保存してあるか全くわからないし、避難場所はどのくらいの耐震力があるのでしょうか。
被災経験者の視点から見た災害発生時に必要なもの。あると便利なもの情報
まだ行っていないけれど防災センターで、自宅が地震 etc にあった時の予測状況を知りたい。
昔から新城市は東海大地震の時にはかなり危ない地域だと言われていたように思うが、地震が起きた場合の危険な地域や、過去何年間の災害統計など。それを見ることによって市民の防災に関する意識も高まるのではないか。
もし、地震などの災害が起きた場合、市はどのような支援や援助をしてくれるつもりなのですか。災害発生から一週間位の間は、自分たちは何を自分でやらなければならないのでしょうか。どんな心構えが必要なのか教えてください。
私達地域では防災訓練参加者は、地域の役職者のみの参加になっている為、一般住民にまで防災意識が乏しいのが問題です。
昨年の防災訓練時 備品を見せてもらったが使用有効期限が切れていた。 まずは正常な状態にしてください。
私の住んでいる川田・豊島地区の避難場所が地域住民の数と比べて少ない様な気がするのですが、避難場所の増設等は検討しているのですか？
私は現在、豊川市の建設業者に勤務しておりますが、飲料水兼用耐震性貯水槽の設置が進められています。新城市の情報を積極的に入手しようとしておりませんので知らないのですが、現在及び今後も防災に関する整備事業を推進していかれるのでしょうか。
地震に関する情報を教えてほしいと思います。
特になし